

令和4年12月15日

## 【富山県美術館】アーティスト@TAD 2022 年度 作家決定！ 袴田京太郎「複製する（陰の彫刻）」



《布袋と台座—複製》

アーティスト@TAD は、国内外で活躍するアーティストを富山県美術館(TAD)に招き、滞在制作や作品展示を行う企画です。公開制作やワークショップを通して、アーティストの制作手法や考え方を TAD に集う人々と共有するとともに、その成果を含む作品展示を1階の TAD ギャラリーほかで開催します。

2022 年度は、彫刻家・袴田京太郎氏を招き、「複製する」ことをテーマに公開制作や展示を行います。富山県美術館コレクションの高さ 40cm ほどの小さな彫刻を 3D スキャンし、約 10 倍のサイズに巨大化する公開制作など、複製する行為を通して「本物／偽物とは何か」「彫刻とは何か」を問いかけます。

### アーティスト@TAD にて行うイベントなど

#### ギャラリー展示

2023 年 3 月 18 日（土曜日）～5 月 28 日（日曜日） 1 階 TAD ギャラリー

よく知られた美術作品や既製品を、アクリル板を積層して複製した彫刻作品など、袴田氏のこれまでの作品の中から「複製する」ことをテーマに選りすぐった作品をご紹介します。今回の公開制作とあわせて、複製することを通して生まれるものとは何か、本物と偽物とはどのような関係にあるのかなど、彫刻のあり方を再考します。

#### 公開制作

2023 年 3 月 19 日（日曜日）～26 日（日曜日） 2 階ホワイエ（予定）

※制作後、作品は 5 月 28 日（日曜日）まで展示

富山県美術館コレクションの中から、本保義太郎《裸婦像》（1896 年頃）を 3D スキャンし、高さ 40cm ほどの小さな彫刻を約 10 倍のサイズに複製・巨大化します。3D スキャンしたデータを元に、発泡スチロールの層を 1 枚ずつ切り出して積み重ねていくことで、元の作品からは想像もつかない巨大な彫刻作品を館内に出現させます。

## ワークショップ「からだにことばをきざむ」

---

2023年3月25日（土曜日） 3階アトリエ

袴田氏の作品「刻印の肘掛」に座って、腕をひじ掛けに押し付けることで、文字のかたちを刻印してみるワークショップです。また制作予定の新作「刻印の踏み絵」でも裸足で作品を「踏み」、足の裏に刻印を残します。

## ワークショップ（作品模写）

---

2023年4月頃（予定）

休館日の展示室内で、美術作品の模写を行います。詳細・申込方法は追ってお知らせします。

## 袴田京太郎（はかまた きょうたろう）氏 プロフィール



1963年静岡県生まれ。1987年武蔵野美術大学造形学部彫刻学科卒業。1994年文化庁芸術家在外研修員として渡米。1996年五島記念文化賞美術新人賞受賞による海外研修としてチベット他に滞在。2012年第22回タカシマヤ美術賞受賞。静岡市美術館（2011年）、平塚市美術館（2014年）、カスヤの森現代美術館（2019年）、MA2ギャラリー（2012、2016年）などで個展を開催。武蔵野美術大学教授。

近年は「複製」をテーマに、既製品の一部にカラフルなアクリル板を重ね合わせた人型のシリーズを制作。彫刻の表面とその内部、本物と偽物の関係性を問う。

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、上記日程・内容が変更する場合があります。ご了承ください。

※ワークショップ募集などの詳細は決まり次第、当館WEBにてご案内します。

**MAKE  
TOYAMA  
STYLE**  
BEYOND CORONA, WITH US

